

# 「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和2年3月31日

事業名称	児童措置管理事務費 [保育園入園者保育料・私立保育園入園者保育料徴収事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育課						保育・幼稚園係	係	課長名	関田 孝志	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4		
【施策名】児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59		
1 この 仕 事 の 目 的	① 誰（何）を対象にしていますか。				①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	保育園に入園している児童の保護者及び保育料滞納者				→ 保育園に入園している児童数及び保育料滞納件数 (R2.5調定分)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	決定した保育料の確実な納入をしてもらう。				→ 保育料の収納率						
2 指 標 の 推 移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	(1)保育料の滞納額が積み重なると、保護者は納入が大変になる。このため、滞納額が膨れ上がらないように、頻繁に保護者に連絡を取り、保護者の事情に耳を傾けながら。滞納分の一部分だけでも納入していただく等、寄り添いながら相談に応じることに努めている。 (2)また、保育料の納入については、口座振替や納入通知書により金融機関で納入する方法があるが、新規入園者を中心に口座振替による納入の推進を行っている。				→ 保育料の調定額分						
	対象指標		①の数値	件	過去2年間の実績 平成29年度実績 20,540	当該年度 平成30年度実績 20,296	当該年度 平成31年度実績 13,790	成果目標 令和2年度目標		成果目標 令和3年度目標	
	成果指標		②の数値	%	97.65	98.00	98.10				
3 経 費	目標		②の目標値	%	95.6	95.7	95.8				
	目標値設定の考え方 第5次行政改革大綱										
	活動指標		③の数値	円	396,433,780	393,880,230	270,705,580				
	事業費(実績)		円	1,921,760	1,920,150	1,872,516					
4 環 境 変 化	財源		一般財源	円	1,921,760	1,920,150	1,872,516	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、831,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	特定財源		(うち受益者負担)	円							
	人件費 (目安)		所要人数(再任用以外)	人	1	1	1.0				
			所要人数(再任用)	人							
	職員人件費(再任用以外)		円	8,267,000	8,244,000	8,310,000					
	職員人件費(再任用)		円								
事業費+人件費		円	10,188,760	10,164,150	10,182,516						
(1) 開始年度		昭和28年度									
(2) 環境の変化		保育料徴収事業は、市内に保育園が開園してから開始された。市内保育園のうち最も開園時期が早い保育園は、昭和28年に開園している。 保育料の納入率は、ここ最近90%以上となっている。 平成21年度から臨時職員を雇用し滞納者への催告を行ったことで、納入率(98.00%)は目標(95.7%)を上回った。 また、令和元年10月より、幼児教育・保育の無償化が開始となり保育料徴収対象者が大きく減少した。									

事業名称	児童措置管理事務費 [保育園入園者保育料・私立保育園入園者保育料徴収事業]				
担当部署・課長名	保育課	課	保育・幼稚園係	係	課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	保育園に入園している児童の保護者からは、保育料のコンビニ収納の実施について要望されることがある。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )			
		(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(2)を転記)  昨年度に引き続き、口座振替による納付を推進することで、口座振替率及び収納率が上昇した。新規入所者への案内のほか、窓口で納付書等を再発行される方には口座登録の案内を行った。 また、H31年度よりペーパーレス化を開始することで、口座振替率の上昇が期待できる。 滞納者への対応としては、電話催告に応じない世帯を中心に臨戸徴収を2回を行い、保育料を徴収した。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	平成31年4月より、ペーパーレス化を開始し、保育課窓口で口座振替登録が可能となった。保育料徴収対象567名のうち537名が口座振替登録し口座振替率は当初91.7%から94.7%となった。 滞納者への対応としては、児童手当からの保育料徴収促進や、電話催告に応じない世帯を中心に臨戸徴収を行い、保育料を徴収した。 また、退園手続きの際に保育料の納付状況を確認することで、納付を確実にした。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)					
依然、滞納が続いている保護者がいるため、滞納者と納付計画を立てる等確実に納付をしてもらう必要がある。					
8 施策貢献状況	(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名：児童福祉の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】  滞納者は、複数年度分未納となっている。滞納額を増やさない取り組みが必要。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等  滞納者への督促状の送付や、電話催告等で納付計画を立てることで新たに滞納を生じさせないようにする。					